

(別表第1の3)

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 12 月 19 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103714		
法人名	株式会社 エイジングウェル		
事業所名	グループホーム あゆーら		
所在地	松山市枝松6丁目3-15	(電話) 089-945-1126	
管理者	河内 望		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 11 月 8 日	評価確定日	平成 19 年 12 月 25 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 9 月 25 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 11 月 20 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤	12 人, 非常勤 7 人, 常勤換算 15.5 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 9 月 25 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護 1	5 名		要介護 2	1 名	
要介護 3	7 名		要介護 4	4 名	
要介護 5	名		要支援 2	1 名	
年齢	平均 78 歳	最低	58 歳	最高	93 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

商店や会社が多い地域の中にある、開設して4年になるホームである。職員は利用者の思いを大切に支援し、特に美味しい食事作りを心がけ、温かい笑顔での対応に努めている。ホームの母体はデイサービス、小規模多機能型サービス、障害者支援施設、託児所、介護タクシー等、幅広い福祉サービスを提供する法人で、これらの施設とホーム間での行き来があり、一緒に行事を実施したり、託児所の幼児がホームを訪問することもある。また、地域との交流も進み、地域の文化祭に参加したり、小学生が下校時にホームに立寄る等の関係ができています。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回の評価後、理念を掲載したホーム便りを発行して地域に届け、定期健康診断を行うこととし、感染対策マニュアルの作成や衛生管理の充実を図っている。また、防災対策への具体的な実践に努め、市や地域との交流も進んでいる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

運営者、管理者、職員は評価の意義を理解し、全職員で自己評価を行っており、日々のケアの振り返りになると考えている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

運営推進会議は定期的に行われている。会議の討議内容はホームの実情、行事予定や実施状況、感染症対策の報告等である。時にはホームの行事に参加してもらうことで会議に代える等の柔軟な運営をしている。会議での意見や提案は利用者の支援や運営に活かしている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の意見は面会時や運営推進会議等で把握し、運営に反映している。内部及び外部の苦情相談窓口は文書に明記し、家族にも説明している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

ホームは町内会に入り、地元住民に声かけを行う等して地域との連携・交流が進んでいる。地域の文化祭、地方祭、清掃活動等に参加し、下校中の児童がホームに立寄ることもある。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム あゆーら

(ユニット名) Aユニット

記入者(管理者)
氏名 河内望・(ホーム長 大野定治)

評価完了日 平成 19 年 10 月 16 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 笑顔、挨拶を通じて、地域住民との交流を深めつつある。 (外部評価) 「いつも笑顔の絶えない家作り」という理念は分かりやすく、覚えやすい理念である。利用者へ笑顔で接することや地域住民と笑顔で交流を図ることを目指しているが、利用者が地域の中で生活していくことを支援する理念というイメージが伝わりにくい。	※	今年初めて縁日を行ない、地域住民の方々、子供さん、近隣GH、町内会長、市役所、地域包括等の参加を頂き、大盛況の内に開催できた。利用者とも触れ合うことができたので、こういう機会をもっと作っていきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 毎月一回実施されるミーティングにて、理念・目標を確認し合い、実践に取り組んでいる。 (外部評価) 業務の節目や月一回のミーティングで理念の共有や確認を行っている。また、職員は利用者の支援にあたり、理念を意識しながら笑顔で接するよう心がけている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) パンフレットに載せたり、ホーム入り口の目立つところに掲示して、理解を促している。	※	今後、広報にも載せて、地域の方々にも理解を求めていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 犬を2匹飼っており、そこに子供さんや、その親御さん、散歩中のご夫婦が立ち寄ってくれます。そこで、気軽に声を掛けてくださったり、利用者とも会話できたりする場がある。	※	子供さん達が、ホームの中まで遊びに来てくれるようなホームにしていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内会に加入しており、回覧版を回したり、会合に参加したりしている。最近、近くの子供会からも声が掛かるようになっている。 (外部評価) 民家が少なく商店や企業の多い地域ではあるが、ホームは町内会に入り、地元住民に声かけを行う等で地域との交流が進んでいる。地域の文化祭、地方祭、清掃活動等に参加し、子供会へのお誘いもあり、下校中の児童がホームに立寄り犬と遊んでいくこともある。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 当ホームだけでなく、近隣グループホームとも協力して、地元へ貢献できればと、運営推進会議等で話し合っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価は常勤者全員で取り組んでおり、ミーティング等で話し合っている。 (外部評価) 運営者、管理者、職員は評価の意義を理解し、全職員で自己評価に取り組んでいる。自己評価を行うことで日頃のケアの振り返りになると考えている。前回評価での改善事項にも取り組み、質の向上を目指している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議は、今年始めたばかりなのでまだ行っていない。 (外部評価) 市担当者や地域代表者、利用者や家族の他、近くの同業者の職員も参加して会議を定期的に開催している。会議ではホームの実情、行事予定や実施状況、感染症対策の報告等を行い、ホームの行事への参加を呼びかけている。会議での意見や提案は利用者支援や運営に活かしている。	※	今回の評価は、運営推進会議での議題に盛り込み、広く意見を求めたいと思っている。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市が主催する研修会には、すすんで参加するようにしている。 (外部評価) ホームは利用者の手続き等で市の担当課以外に出向くことがあるが、必ず市の担当者のところにも立寄り、関係づくりを心がけている。また、地域包括支援センターとも交流があり、利用者の入居情報を得る等の関係にある。	※	今後、ホームに来てもらえる機会をつくっていききたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会や説明会に参加し、学ぶ機会を作っていて、必要であれば、活用できるよう準備している。 今現在は、活用している利用者は居ない。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会等に参加し、絶対虐待が起こらないよう、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 行なっている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見、不満、苦情は、職員が必ず申し送りノートに記入し、毎朝の申し送りみて話し合いをする。重要な場合には、管理者・ホーム長を交えて行なう。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月、請求書と一緒に、近況報告・広報を同封して報告している。 (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態は、ホームのケアマネジャーが月に1回、各利用者の状況を文書にまとめ家族に送ることで報告している。2か月に1回発行のホーム便りはカラー印刷で写真も多く好評である。利用者の買い物、整髪料金等は基本的にはホームで立替え、毎月領収書を添えて家族に請求している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、不満、苦情を申し出る機関を苦情相談窓口で明記している。 (外部評価) 家族等の希望・意見は面会時や運営推進会議等で把握し、運営に反映させるよう努めている。内部及び外部の相談窓口を文書に明記し家族等にも説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の意見や提案は、ミーティングや個人面談で管理者又はホーム長が聞き、社長（運営者）に報告している。もしくは、社長への直接相談も聞き入れてもらえる。改善・アイデア提案書で、本社に意見を申し出る方法もある。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 日勤3名の他に、月の約半分平日パート0.5人と看護師4時間/日。自由に動けるケアマネとホーム長を配置している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 努力している。 (外部評価) 運営者は利用者が馴染みの職員の支援を受けられるよう、職員の異動や離職を少なくするよう努めている。早目に離職者が分かる時は新採用者との重複勤務で利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会や講習会への参加は、会社が推奨していて、それに必要な費用を全額会社が負担してくれている。 (外部評価) 運営法人から外部研修の情報が回ってきて、職員の希望によって研修参加が可能である。ホーム内では月1回のミーティングでテーマを決めてのミニ勉強会を行っている。同系列の施設の合同学習会も企画、実施されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 近隣グループホーム3ホームが、運営推進会議のメンバーに入っており、それぞれの会議に出席し意見の交換を行なっている。又、それぞれのホームの催し物には声を掛け合い、利用者を交えて交流している。 (外部評価) 近所の2つのホームと連携があり、3ホームでお互いの運営推進会議に出席したり、行事に参加し合うことで交流を図り、意見交換を行っている。そして、交流や意見交換での学びを利用者の支援の向上に役立てている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) シフト決めは、できるだけ職員の希望を取り入れ、家庭との両立が容易にできるよう配慮している。職務中の休憩も、別室に畳の間やソファ、TVや冷蔵庫を用意し、くつろげる空間がある。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 各種保険を完備しており、相談に応じる体制が整っている。正社員への登用制度がある。年間ベストスタッフ賞を決めて、年末に賞品授与式がある。努力や実績により、昇給制度あり。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に事前面接を行い、ご本人の意見をよく聞き、入所後に安心して生活できる環境作りに努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に事前面接を行い、ご家族の意見をよく聞き、入所後に安心して預けて頂ける環境作りに努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 当事業所のグループに、デイサービスや小規模多機能事業所があり、ご本人やご家族の希望に合った事業所を紹介している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 居室への馴染みの家具等の持ち込みを自由にしており、極端な生活の変化に配慮している。 当ホームには、契約医療機関があるが、入所前の係り付けの医院を継続してもらうのを可能にしている。もちろん、通院や緊急時には、職員が対応する。 (外部評価) 利用者が安心してサービスを利用できるよう、入居後しばらくは毎日家族の面会を得ながら徐々にホームに馴染んでもらうこともある。また、入居前に同系列の小規模多機能サービスを利用し、集団での生活やホームとの交流で雰囲気を体験した上で入居する等の工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の残存機能をできるだけ活用して、日常生活に必要な家事や作業を共に行なっている。 (外部評価) 編み物、縫物、はり絵、テレビ、近くの川や公園への散歩、洗濯物たたみ、食事の準備や片付け等、利用者の楽しみごとや役割をともに行いながら支援している。料理の味付けを利用者から教わることもある。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族が来所された時には、ホームでの生活の様子を撮った写真を一緒に観て、その時の様子等を一緒に話合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 催し物には、ご家族を呼んで、利用者と一緒に楽しんでもらえるよう努力している。	※	催し物の回数が少ないので、徐々に増やして行って、利用者がご家族と過ごせる時間を増やしていきたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者の友達や親戚、入所前に住んでいた所のご近所さん等、判る範囲で連絡先を記録して、連絡を取り合えるよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 努力している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 今まであまりできていなかった。	※	今後必要な取り組みとして、努力する。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。 (外部評価) 入居時の情報や家族との話、利用者との会話や声かけでの反応等から各利用者の思いや希望を把握している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者個人に介護・ケアプラン担当者を決めている。計画作成担当者が計画したケアプランを、担当者がチェックし、ミーティングにて決定して、ご家族に提示し最終決定をしている。 (外部評価) ケアマネジャーが中心になり、職員、利用者、家族の意見や思いを反映した介護計画を作成している。介護計画は「ケアプラン実行評価表」で毎日チェックして日々のケアと関連づけ、利用者の担当職員が毎月振り返り・まとめを記載している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 見直しについても、その都度計画作成担当者が計画したケアプランを、担当者がチェックし、ミーティングにて決定して、ご家族に提示し最終決定をしている。 (外部評価) 月1回のミーティングで計画の見直しが必要かどうかのチェックを行っている。利用者の状況が変化した場合はその都度見直している。介護計画の作成・見直し時は計画表の説明をした上で、家族のサイン・捺印をもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ケアプランチェック表にて個別に毎日チェックし、見直しに役立てている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 当ホームのグループに、デイサービス・託児所・小規模多機能等があり、各事業所で行なわれる催し物（音楽コンサートや落語、手品等）に参加できる。又、パワーリハビリ施設や学習療法があり、状況や要望に応じて、利用できる。 <hr/> (外部評価) 予定外の受診、墓参りや選挙のための外出等、利用者や家族の状況に応じた柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティア、消防（避難訓練等）、教育機関（まもるくんの家）等との協力体制がある。	※	できるだけ、協力機関を増やしていきたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 体に適応した車椅子の提供や、自助具の提供を、必要機関やサービス業者を介して提供している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議のメンバーにもなってもらっており、連絡は密に行ない、新規利用者の紹介もいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 当ホームには、契約医療機関があるが、入所前の係り付けの医院を継続してもらうのを可能にしている。もちろん、通院や緊急時には、職員が対応している。 <hr/> (外部評価) 利用者及び家族が希望するかかりつけ医の受診支援を行っている。協力医療機関の往診が2週間に1回あり、利用者の健康管理に努めている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門の医療機関と業務提携している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した場合病院に、ご家族だけでなく、当ホームの連絡先も登録してもらい、情報交換を行なっている。お見舞いは、管理者やホーム長だけでなく、職員も個別に訪問している。(規則ではないし、命令もしていない。)		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご家族や医療機関を交えて行なっている。 <hr/> (外部評価) 重度化の場合や終末期の対応は早目に利用者や家族と話し合っており、利用者、家族が希望すればホームでの対応も可能である。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 当ホームでは看れなくなったからといって、すぐに行き先を探すのではなく、できるだけ当ホームで過ごしてもらえる方法を、ご家族や医療機関と相談している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 移転時の協力支援は、契約書にも記載しており、利用者の意向やご家族の都合等を考慮して、何箇所も候補を提示して、選んでもらうよう支援している。又、入所交渉も行なう。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 居室におけるプライバシーの確保には十分配慮できている。個人記録は入居者や一般の方が見えにくい場所に保管してある。また、申し送りなどのときに入居者の名前を声に出さず、イニシャルなどで伝える等配慮は行なっている。 <hr/> (外部評価) 食事を食べようとしないう利用者にさりげなく促したり、食べこぼしをそっと取り除く等、利用者の誇りを大事にした支援をしている。記録類はホーム長が管理しており、個人情報保護へも配慮している。	※	夜勤帯など、1人体制のときにも不備がないよう、勉強会や職員教育を行なって、徹底していきたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の思いや希望を引き出せるように支援する一方、共同生活の弊害になることがあれば十分に説明し、理解に至るよう努めている。が、十分な自己決定支援ができていないか、職員個人の技量にも左右されており、全体に徹底できているとは言えない。	※	コミュニケーション技法について勉強会を開催したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 生活のペースは概ね入居者の自由な決定に基づいているが、食事やティータイムなどは原則全員が同じ時間であり、十分な生活ペースの尊重とは言えないかもしれない。 (外部評価) 職員は長時間をかけて食事する利用者をゆったり見守り、夕方に入浴したい場合は段取りし、一人で入浴したい利用者にはその希望を叶えるなど、一人ひとりのペースを大切に支援をしている。	※	現状の勤務体制では確実にクリアしていくことは困難であると思われるが、入居者の希望が現状の生活ペース以外のところにあるならば、検討が必要である。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 更衣時、着衣の選択が出来るよう心掛けている。散髪は好みの店があればお連れし、特に希望がない場合や金銭的な負担が問題な場合は職員が定期的に行なっている。また、衣替えのための衣類整理も季節の変わり目を実施している。	※	体力的に美容室への外出が困難な方も増えてきている。散髪の得意な職員と協力しながら、理美容に代わって身だしなみの支援が継続できれば良い。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 意欲や能力のある方は職員と一緒に食事作りが出来ている。また、あとかたづけも手伝ってくださる。 (外部評価) 利用者が食事を美味しく食べられるよう、味付けや好みを考慮した食事作りに努めている。ご飯を残した利用者にはおにぎりにして時間をずらし食べてもらう等の工夫もしている。職員は利用者と同じ食事をしながら介助し、和やかな雰囲気作りを心がけている。食事の準備や片付けもともにやっている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 健康上の問題について医師とも相談しながら、その許容範囲内において嗜好支援を行なっている。玄関先に喫煙場所を確保し、空気清浄機を設置。居室での喫煙は防火のため禁止している。お茶の時間に飲む物は栄養と好みを反映してあるが選択権が広いとは言えない。	※	毎回好きな飲物を選択できるような制度と余裕がほしい(飲物の種類、温度など複数の選択肢から)

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 日常の排泄記録からパターンを理解し、本人の排泄周期を配慮して出来る限りトイレで排泄できるよう心掛けている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴されるかどうかの選択権は個人にあるが、基本的には隔日、午後入浴のスタイルを取っており、個人の希望を確実に尊重しているとは言えない。 (外部評価) 利用者の希望を尊重し、一番風呂に入ったり、夕方に入浴したり、一人でお風呂を楽しむ等の支援をしている。	※	どうすれば本人の希望に合わせた入浴が可能かを検討する機会を設けたい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 消灯時間を厳密には設定していないので、テレビを見たり本を読んだりしながら入居者が異なる時間に入眠している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 清掃や洗濯など、個人の力に合わせた役割を持っていたでいる。また、家事能力が低下している方にも、趣味を活かした時間の利用を心掛けており、生活の満足度を高められるよう努めている。 (外部評価) 食事の準備、犬の散歩、洗濯物たたみ、買物、編み物、読書等の役割や楽しみごとを職員はともに支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物等の希望があれば、買い物に同行して極力自由に自分のお金を使えるよう配慮している。管理のためにお金を預かることが多いが、引出しは自由であり、支出も領収書、レシート等で明らかにしている。	※	認知症など、金銭管理に支障が無ければ完全自己管理にして差し上げたいが、セキュリティ上の問題をどうクリアしていくか検討が必要である。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天候や季節、本人の希望を考慮しながら、手の空いた職員が外出支援を適宜行なっている。 (外部評価) 一人ひとりの希望に沿って近くの川や公園に出かけたり、買い物でショッピングセンターへ出かける等の支援をしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 日常の散歩などのほかにも、自動車を利用して外出にお連れし、季節感を味わっていただけるよう支援している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話をかけたり手紙を出したりする事に制限は設けていない。希望があればそれに沿うよう支援を行う。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 他の入居者に迷惑のかからない時間帯であれば、いつ訪問していただいても構わない。来客専用のスペースは設けていないが、共用スペースでも個室でも、自由に使うことができ、事柄が可能である。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の正しい理解について学習の機会を会議等で設け、職員理解も進んでいると思われ、やむを得ないケース(事故防止のためのベッド柵)を除いて、拘束事由は無い。	※	新入職員に対しても学習の機会を設けていかなければならない。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室に鍵をかけることは一日を通して無い。玄関は夜間のみ施錠、日中は施錠しない。 (外部評価) 運営者及び職員は鍵をかけない意義を理解し、居室や日中の玄関に鍵はかかっている。なお、安全への配慮から業者にセキュリティを依頼している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 入居者が単独で外出しないよう居場所の確認はプライバシーを侵害しない範囲で常時行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 物品をなくしてしまわなければ、異食、収集などによって害を被るようなものは現状無いので(そういった行動を取る入居者がいらっしゃらないので)、現在は特別な取り組みが無い。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故や災害についての知識は、定例会議などで勉強の機会があるので、取り組んでいると思われる。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 心肺蘇生法などの応急処置講習への参加を常に呼びかけ、知識の普及に努めている。また、緊急事態発生時のマニュアルを配布し、電話機付近にも掲示してある。24時間対応病院と連携している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 職員会議などで緊急時の避難方法を伝達している。運営推進会議で地域の方への協力を呼びかけている。 (外部評価) 年2回の防災訓練を行っている。今後、夜間想定での訓練を盛り込んでいく予定である。また、運営推進会議で地域住民への協力を依頼している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) プライバシーの尊重や身体拘束の廃絶を心掛けながら、快適な暮らしを提供していく過程で、事故発生の可能性があることは入居前にも十分説明して、その上で個々に合わせた対応を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルチェックを欠かさず、また普段と違う場合は看護師や医師の協力のもと、最適な対処を行えるようにしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 誤薬や飲み忘れなどが無いよう服薬支援には十分注意しているが、薬の内容については看護師及び一部の職員の理解に留まり、介護職員への周知徹底には至っていない。	※	薬の内容について周知できるよう、方法を検討したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 十分な水分摂取を心掛けつとともに、慢性的な便秘に対しては腸運動を促進できるような飲料摂取を試み、医師や看護師とも連携しながら便秘改善に取り組んでいる。	※	運動不足解消に向けた取り組みが必要である。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 義歯洗浄や口腔ケアを毎日実施している。が、全員が毎食後（一日3回）とは言えない。	※	毎食後の実施を検討する。また、口腔ケアに対する著しい抵抗がある方への対応を考える。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分摂取が出来ているかチェックシートで確認し、病状に合わせた個別の水分摂取を考慮している。血液検査を定期的に行い、栄養状態について医師、看護師と相談の上、飲料、食事などでバランス維持に努めている。 (外部評価) 食事・水分摂取量は都度チェックしている。食事を中断した時のみ介助して促したり、時間がかかっても自力で食べるのを温かく見守る等、利用者の力量を大事にした支援をしている。定期的な血液検査を栄養バランスの一つの目安としているが、栄養士等のチェックはない。	※	一人ひとりの一日の栄養摂取量の大まかな把握や栄養バランスへの配慮の面からも、専門的な観点でのチェックが望まれる。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) ウイルス対策に効果のある消毒液を導入し、食前の手指消毒及び、トイレや手摺りの除菌に取り組んでいる。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 上記消毒液や市販の塩素漂白剤での調理用具の除菌に取り組んでいる。水道水は浄水して使用している。食材は短時間で使用する量を購入している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関まわりで花を育て、飼っている二匹の犬を見に近隣の人は集まってくることもある。日中扉は開いているので入りやすい雰囲気づくりには努めている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) たばこのにおいが広がらないよう空気清浄機を設置している。毎朝の清掃は欠かさない為、清潔感はある。 (外部評価) 居間には見やすい時計、利用者の作品、季節の花等があり、懐かしい民芸風のダンスや食器棚を置き、居心地よく過ごせるよう工夫している。気になる音や匂いもなくゆったりした空間である。	※	もう少し季節感を出せるようにしてみたい。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テレビ周囲のスペースが比較的のびのびと利用でき、入居者間の交流に役立っているが、一人になれるような場所は現状喫煙スペースくらいで、全員に対して共通な固有スペースの確保は出来ていない。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人が使用していた馴染みの家具を持ち込むことは制限していない。居室の利用については共同生活に支障の無い範囲において自由である。 (外部評価) 居室には使い慣れた時計や衣装ケース、書籍等が持ち込まれ、好きなタレントの写真を壁に飾ったりして、利用者が心地よく過ごせる部屋になっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 玄関と勝手口を日中開放することで空気の流れを作っている。共用スペース、居室の室温は空調の過剰使用によって外気との極端な温度差が出ないように管理されている。喫煙スペースは空気清浄機を設置している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりはすべての壁面に設置されている。動線の障害にも極力注意して、個々の身体機能を活かして生活できるようにしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室に目印をつけ、部屋に帰るときに迷わないよう支援している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関口のベンチで休憩しながら外を眺めることができる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	全員の意向や願いを掴みたいと思う一方、コミュニケーションがうまく取れず、家族ともつながりが薄くなってしまった入居者の意向を掴みきれないという現実がある。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	お茶の時間はともにテーブルにつき、話ができるようにしている。散歩などに出かけて公園で話をしたりする時間も取れている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	個々の状態に差はあるが、一人一人が好きな事をして過ごしている。共同生活に支障のない範囲において、職員は、入居者の生活ペースを尊重している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	そうするように日々努力しているが、疾患や生活歴の影響もあり、努力したとおりに全員から良い結果が返ってくるとは限らないのが現状である。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	「行きたいところ」が支援できる範囲であれば当然外出支援するが、身体状況や金銭問題等で実現が難しい場合や、行きたいところの意思表示ができない方、あるいは外出を好まない方などを含めると、1/3くらいにとどまる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	定期的な通院は欠かさず、外出が困難な方の場合は往診も月に2回行っている。看護師への相談体制も確立しており、24時間対応の病院協力もあり不安は解消できている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	管理者や計画作成者など、業務に拘束の少ないスタッフも配置されている為、ある程度の要望には対応できている。(共同生活に著しく支障がある場合をのぞいて)
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	関係の持続している家族とは訪問時に遠慮なく話をできる体制が出来ている。が、家族関係が希薄になっている場合もあり全員とは言えない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 ① ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	家族の訪問はよくある。地域の方は犬を見に来てくださる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議開催前と比べると、地域とのつながりは感じるようになってきた。
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意見が言いにくいような職場環境ではないので、問題については話し合いながら働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人の状態に差異はあっても、全員の満足が得られるように支援している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	現在のところ苦情もなく、お会いしても不満は聞かれないので、(あるいは多少の不満は相談の上、すぐ解消に向けて取り組んでいるので) おおむね満足していただけているものと理解している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

当グループには、グループホームの他に、デイサービス（老人/小児）・託児所・小規模多機能があり、それぞれの催し物等に参加できる体制が構築されており、交流を深めている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム あゆーら

(ユニット名) Aユニット

記入者(管理者)
氏名 河内望・(ホーム長 大野定治)

評価完了日 平成 19 年 10 月 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 笑顔、挨拶を通じて、地域住民との交流を深めつつある。 (外部評価) 「いつも笑顔の絶えない家作り」という理念は分かりやすく、覚えやすい理念である。利用者へ笑顔で接することや地域住民と笑顔で交流を図ることを目指しているが、利用者が地域の中で生活していくことを支援する理念というイメージが伝わりにくい。	※	今年初めて縁日を行ない、地域住民の方々、子供さん、近隣GH、町内会長、市役所、地域包括等の参加を頂き、大盛況の内に開催できた。利用者とも触れ合うことができたので、こういう機会をもっと作っていきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 毎月一回実施されるミーティングにて、理念・目標を確認し合い、実践に取り組んでいる。 (外部評価) 業務の節目や月一回のミーティングで理念の共有や確認を行っている。また、職員は利用者の支援にあたり、理念を意識しながら笑顔で接するよう心がけている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) パンフレットに載せたり、ホーム入り口の目立つところに掲示して、理解を促している。	※	今後、広報にも載せて、地域の方々にも理解を求めていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 犬を2匹飼っており、そこに子供さんや、その親御さん、散歩中のご夫婦が立ち寄ってくれます。そこで、気軽に声を掛けてくださったり、利用者とも会話できたりする場がある。	※	子供さん達が、ホームの中まで遊びに来てくれるようなホームにしていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内会に加入しており、回覧版を回したり、会合に参加したりしている。最近、近くの子供会からも声が掛かるようになっている。 (外部評価) 民家が少なく商店や企業の多い地域ではあるが、ホームは町内会に入り、地元住民に声かけを行う等で地域との交流が進んでいる。地域の文化祭、地方祭、清掃活動等に参加し、子供会へのお誘いもあり、下校中の児童がホームに立寄り犬と遊んでいくこともある。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 当ホームだけでなく、近隣グループホームとも協力して、地元へ貢献できればと、運営推進会議等で話し合っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価は常勤者全員で取り組んでおり、ミーティング等で話し合っている。 (外部評価) 運営者、管理者、職員は評価の意義を理解し、全職員で自己評価に取り組んでいる。自己評価を行うことで日頃のケアの振り返りになると考えている。前回評価での改善事項にも取り組み、質の向上を目指している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議は、今年始めたばかりなのでまだ行っていない。 (外部評価) 市担当者や地域代表者、利用者や家族の他、近くの同業者の職員も参加して会議を定期的に開催している。会議ではホームの実情、行事予定や実施状況、感染症対策の報告等を行い、ホームの行事への参加を呼びかけている。会議での意見や提案は利用者支援や運営に活かしている。	※	今回の評価は、運営推進会議での議題に盛り込み、広く意見を求めたいと思っている。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市が主催する研修会には、すすんで参加するようにしている。 (外部評価) ホームは利用者の手続き等で市の担当課以外に出向くことがあるが、必ず市の担当者のところにも立寄り、関係づくりを心がけている。また、地域包括支援センターとも交流があり、利用者の入居情報を得る等の関係にある。	※	今後、ホームに来てもらえる機会をつくっていききたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会や説明会に参加し、学ぶ機会を作っていて、必要であれば、活用できるよう準備している。 今現在は、活用している利用者は居ない。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会等に参加し、絶対虐待が起こらないよう、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 行なっている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見、不満、苦情は、職員が必ず申し送りノートに記入し、毎朝の申し送りみて話し合いをする。重要な場合には、管理者・ホーム長を交えて行なう。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、請求書と一緒に、近況報告・広報を同封して報告している。 (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態は、ホームのケアマネジャーが月に1回、各利用者の状況を文書にまとめ家族に送ることで報告している。2か月に1回発行のホーム便りはカラー印刷で写真も多く好評である。利用者の買い物、整髪料金等は基本的にはホームで立替え、毎月領収書を添えて家族に請求している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、不満、苦情を申し出る機関を苦情相談窓口で明記している。 (外部評価) 家族等の希望・意見は面会時や運営推進会議等で把握し、運営に反映させるよう努めている。内部及び外部の相談窓口を文書に明記し家族等にも説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の意見や提案は、ミーティングや個人面談で管理者又はホーム長が聞き、社長（運営者）に報告している。もしくは、社長への直接相談も聞き入れてもらえる。改善・アイデア提案書で、本社に意見を申し出る方法もある。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 日勤3名の他に、月の約半分平日パート0.5人と看護師4時間/日。自由に動けるケアマネとホーム長を配置している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 努力している。 (外部評価) 運営者は利用者が馴染みの職員の支援を受けられるよう、職員の異動や離職を少なくするよう努めている。早目に離職者が分かる時は新採用者との重複勤務で利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会や講習会への参加は、会社が推奨していて、それに必要な費用を全額会社が負担してくれている。 (外部評価) 運営法人から外部研修の情報が回ってきて、職員の希望によって研修参加が可能である。ホーム内では月1回のミーティングでテーマを決めてのミニ勉強会を行っている。同系列の施設の合同学習会も企画、実施されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 近隣グループホーム3ホームが、運営推進会議のメンバーに入っており、それぞれの会議に出席し意見の交換を行なっている。又、それぞれのホームの催し物には声を掛け合い、利用者を交えて交流している。 (外部評価) 近所の2つのホームと連携があり、3ホームでお互いの運営推進会議に出席したり、行事に参加し合うことで交流を図り、意見交換を行っている。そして、交流や意見交換での学びを利用者の支援の向上に役立てている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) シフト決めは、できるだけ職員の希望を取り入れ、家庭との両立が容易にできるよう配慮している。職務中の休憩も、別室に畳の間やソファ、TVや冷蔵庫を用意し、くつろげる空間がある。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 各種保険を完備しており、相談に応じる体制が整っている。正社員への登用制度がある。年間ベストスタッフ賞を決めて、年末に賞品授与式がある。努力や実績により、昇給制度あり。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に事前面接を行い、ご本人の意見をよく聞き、入所後に安心して生活できる環境作りに努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に事前面接を行い、ご家族の意見をよく聞き、入所後に安心して預けて頂ける環境作りに努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 当事業所のグループに、デイサービスや小規模多機能事業所があり、ご本人やご家族の希望に合った事業所を紹介している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 居室への馴染みの家具等の持ち込みを自由にしており、極端な生活の変化に配慮している。 当ホームには、契約医療機関があるが、入所前の係り付けの医館を継続してもらうのを可能にしている。もちろん、通院や緊急時には、職員が対応する。 (外部評価) 利用者が安心してサービスを利用できるよう、入居後しばらくは毎日家族の面会を得ながら徐々にホームに馴染んでもらうこともある。また、入居前に同系列の小規模多機能サービスを利用し、集団での生活やホームとの交流で雰囲気を体験した上で入居する等の工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の残存機能をできるだけ活用して、日常生活に必要な家事や作業を共に行なっている。 (外部評価) 編み物、縫物、はり絵、テレビ、近くの川や公園への散歩、洗濯物たたみ、食事の準備や片付け等、利用者の楽しみごとや役割をともに行いながら支援している。料理の味付けを利用者から教わることもある。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族が来所された時には、ホームでの生活の様子を撮った写真を一緒に観て、その時の様子等を一緒に話合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 催し物には、ご家族を呼んで、利用者と一緒に楽しんでもらえるよう努力している。	※	催し物の回数が少ないので、徐々に増やして行って、利用者がご家族と過ごせる時間を増やしていきたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者の友達や親戚、入所前に住んでいた所のご近所さん等、判る範囲で連絡先を記録して、連絡を取り合えるよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 努力している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 今まであまりできていなかった。	※	今後必要な取り組みとして、努力する。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。 (外部評価) 入居時の情報や家族との話、利用者との会話や声かけでの反応等から各利用者の思いや希望を把握している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者個人に介護・ケアプラン担当者を決めている。計画作成担当者が計画したケアプランを、担当者がチェックし、ミーティングにて決定して、ご家族に提示し最終決定をしている。 (外部評価) ケアマネジャーが中心になり、職員、利用者、家族の意見や思いを反映した介護計画を作成している。介護計画は「ケアプラン実行評価表」で毎日チェックして日々のケアと関連づけ、利用者の担当職員が毎月振り返り・まとめを記載している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 見直しについても、その都度計画作成担当者が計画したケアプランを、担当者がチェックし、ミーティングにて決定して、ご家族に提示し最終決定をしている。 (外部評価) 月1回のミーティングで計画の見直しが必要かどうかのチェックを行っている。利用者の状況が変化した場合はその都度見直している。介護計画の作成・見直し時は計画表の説明をした上で、家族のサイン・捺印をもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ケアプランチェック表にて個別に毎日チェックし、見直しに役立てている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 当ホームのグループに、デイサービス・託児所・小規模多機能等があり、各事業所で行なわれる催し物（音楽コンサートや落語、手品等）に参加できる。又、パワーリハビリ施設や学習療法があり、状況や要望に応じて、利用できる。 <hr/> (外部評価) 予定外の受診、墓参りや選挙のための外出等、利用者や家族の状況に応じた柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティア、消防（避難訓練等）、教育機関（まもるくんの家）等との協力体制がある。	※	できるだけ、協力機関を増やしていきたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 体に適応した車椅子の提供や、自助具の提供を、必要機関やサービス業者を介して提供している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議のメンバーにもなってもらっており、連絡は密に行ない、新規利用者の紹介もいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 当ホームには、契約医療機関があるが、入所前の係り付けの医院を継続してもらうのを可能にしている。もちろん、通院や緊急時には、職員が対応している。 (外部評価) 利用者及び家族が希望するかかりつけ医の受診支援を行っている。協力医療機関の往診が2週間に1回あり、利用者の健康管理に努めている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門の医療機関と業務提携している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した場合病院に、ご家族だけでなく、当ホームの連絡先も登録してもらい、情報交換を行なっている。お見舞いは、管理者やホーム長だけでなく、職員も個別に訪問している。(規則ではないし、命令もしていない。)		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご家族や医療機関を交えて行なっている。 (外部評価) 重度化の場合や終末期の対応は早目に利用者や家族と話し合っており、利用者、家族が希望すればホームでの対応も可能である。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 当ホームでは看れなくなったからといって、すぐに行き先を探すのではなく、できるだけ当ホームで過ごしてもらえる方法を、ご家族や医療機関と相談している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 移転時の協力支援は、契約書にも記載しており、利用者の意向やご家族の都合等を考慮して、何箇所も候補を提示して、選んでもらうよう支援している。又、入所交渉も行なう。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 居室におけるプライバシーの確保には十分配慮できている。個人記録は入居者や一般の方が見えにくい場所に保管してある。また、申し送りなどのときに入居者の名前を声に出さず、イニシャルなどで伝える等配慮は行なっている。 <hr/> (外部評価) 食事を食べようとしないう利用者にさりげなく促したり、食べこぼしをそっと取り除く等、利用者の誇りを大事にした支援をしている。記録類はホーム長が管理しており、個人情報保護へも配慮している。	※	夜勤帯など、1人体制のときにも不備がないよう、勉強会や職員教育を行なって、徹底していきたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の思いや希望を引き出せるように支援する一方、共同生活の弊害になることがあれば十分に説明し、理解に至るよう努めている。が、十分な自己決定支援ができていないか、職員個人の技量にも左右されており、全体に徹底できているとは言えない。	※	コミュニケーション技法について勉強会を開催したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 生活のペースは概ね入居者の自由な決定に基づいているが、食事やティータイムなどは原則全員が同じ時間であり、十分な生活ペースの尊重とは言えないかもしれない。 (外部評価) 職員は長時間をかけて食事する利用者をゆったり見守り、夕方に入浴したい場合は段取りし、一人で入浴したい利用者にはその希望を叶えるなど、一人ひとりのペースを大切に支援をしている。	※	現状の勤務体制では確実にクリアしていくことは困難であると思われるが、入居者の希望が現状の生活ペース以外のところにあるならば、検討が必要である。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 更衣時、着衣の選択が出来るよう心掛けている。散髪は好みの店があればお連れし、特に希望がない場合や金銭的な負担が問題な場合は職員が定期的に行なっている。また、衣替えのための衣類整理も季節の変わり目を実施している。	※	体力的に美容室への外出が困難な方も増えてきている。散髪の得意な職員と協力しながら、理美容に代わって身だしなみの支援が継続できれば良い。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 意欲や能力のある方は職員と一緒に食事作りが出来る。また、あとかたづけも手伝ってくださる。 (外部評価) 利用者が食事を美味しく食べられるよう、味付けや好みを考慮した食事作りに努めている。ご飯を残した利用者にはおにぎりにして時間をずらし食べてもらう等の工夫もしている。職員は利用者と同じ食事をしながら介助し、和やかな雰囲気作りを心がけている。食事の準備や片付けも同行っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 健康上の問題について医師とも相談しながら、その許容範囲内において嗜好支援を行なっている。玄関先に喫煙場所を確保し、空気清浄機を設置。居室での喫煙は防火のため禁止している。お茶の時間に飲む物は栄養と好みを反映してあるが選択権が広いとは言えない。	※	毎回好きな飲物を選択できるような制度と余裕がほしい(飲物の種類、温度など複数の選択肢から)

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 日常の排泄記録からパターンを理解し、本人の排泄周期を配慮して出来る限りトイレで排泄できるよう心掛けている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴されるかどうかの選択権は個人にあるが、基本的には隔日、午後入浴のスタイルを取っており、個人の希望を確実に尊重しているとは言えない。 (外部評価) 利用者の希望を尊重し、一番風呂に入ったり、夕方に入浴したり、一人でお風呂を楽しむ等の支援をしている。	※	どうすれば本人の希望に合わせた入浴が可能かを検討する機会を設けたい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 消灯時間を厳密には設定していないので、テレビを見たり本を読んだりしながら入居者が個々のリズムに合わせて異なる時間に入眠している。また、イベント開催時などの疲労がある場合は早めの就寝を促がしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 清掃や洗濯など、個人の力に合わせた役割を持っていたでいる。また、家事能力が低下している方にも、趣味を活かした時間の利用を心掛けており、生活の満足度を高められるよう努めている。 (外部評価) 食事の準備、犬の散歩、洗濯物たたみ、買物、編み物、読書等の役割や楽しみごとを職員はともに支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物等の希望があれば、買い物に同行して極力自由に自分のお金を使えるよう配慮している。管理のためにお金を預かることが多いが、引出しは自由であり、支出も領収書、レシート等で明らかにしている。	※	認知症など、金銭管理に支障が無ければ完全自己管理にして差し上げたいが、セキュリティー上の問題をどうクリアしていくか検討が必要である。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天候や季節、本人の希望を考慮しながら、手の空いた職員が外出支援を適宜行なっている。 (外部評価) 一人ひとりの希望に沿って近くの川や公園に出かけたり、買い物でショッピングセンターへ出かける等の支援をしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 日常の散歩などのほかにも、自動車を利用して外出にお連れし、季節感を味わっていただけるよう支援している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話をかけたり手紙を出したりする事に制限は設けていない。希望があればそれに沿うよう支援を行う。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 他の入居者に迷惑のかからない時間帯であれば、いつ訪問していただいても構わない。来客専用のスペースは設けていないが、共用スペースでも個室でも、自由に使うていただく事が可能である。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の正しい理解について学習の機会を会議等で設け、職員理解も進んでいると思われ、やむを得ないケース(事故防止のためのベッド柵)を除いて、拘束事由は無い。	※	新入職員に対しても学習の機会を設けていかなければならない。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室に鍵をかけることは一日を通して無い。玄関は夜間のみ施錠、日中は施錠しない。 (外部評価) 運営者及び職員は鍵をかけない意義を理解し、居室や日中の玄関に鍵はかかっている。なお、安全への配慮から業者にセキュリティを依頼している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 入居者が単独で外出しないよう居場所の確認はプライバシーを侵害しない範囲で常時行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律に無くすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 物品をなくしてしまわなければ、異食、収集などによって害を被るようなものは現状無いので(そういった行動を取る入居者がいらっしやらないので)、現在は特別な取り組みが無い。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故や災害についての知識は、定例会議などで勉強の機会があるので、取り組んでいると思われる。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 心肺蘇生法などの応急処置講習への参加を常に呼びかけ、知識の普及に努めている。また、緊急事態発生時のマニュアルを配布し、電話機付近にも掲示してある。24時間対応病院と連携している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 職員会議などで緊急時の避難方法を伝達している。運営推進会議で地域の方への協力を呼びかけている。 (外部評価) 年2回の防災訓練を行っている。今後、夜間想定での訓練を盛り込んでいく予定である。また、運営推進会議で地域住民への協力を依頼している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) プライバシーの尊重や身体拘束の廃絶を心掛けながら、快適な暮らしを提供していく過程で、事故発生の可能性があることは入居前にも十分説明して、その上で個々に合わせた対応を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルチェックを欠かさず、また普段と違う場合は看護師や医師の協力のもと、最適な対処を行えるようにしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 誤薬や飲み忘れなどが無いよう服薬支援には十分注意しているが、薬の内容については看護師及び一部の職員の理解に留まり、介護職員への周知徹底には至っていない。	※	薬の内容について周知できるよう、方法を検討したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 十分な水分摂取を心掛けつとともに、慢性的な便秘に対しては腸運動を促進できるような飲料摂取を試み、医師や看護師とも連携しながら便秘改善に取り組んでいる。	※	運動不足解消に向けた取り組みが必要である。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 義歯洗浄や口腔ケアを毎日実施している。が、全員が毎食後（一日3回）とは言えない。	※	毎食後の実施を検討する。また、口腔ケアに対する著しい抵抗がある方への対応を考える。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分摂取が出来ているかチェックシートで確認し、病状に合わせた個別の水分摂取を考慮している。血液検査を定期的実施し、栄養状態について医師、看護師と相談の上、飲料、食事などでバランス維持に努めている。 (外部評価) 食事・水分摂取量は都度チェックしている。食事を中断した時のみ介助して促したり、時間がかかっても自力で食べるのを温かく見守る等、利用者の力量を大事にした支援をしている。定期的な血液検査を栄養バランスの一つの目安としているが、栄養士等のチェックはない。	※	一人ひとりの一日の栄養摂取量の大まかな把握や栄養バランスへの配慮の面からも、専門的な観点でのチェックが望まれる。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) ウイルス対策に効果のある消毒液を導入し、食前の手指消毒及び、トイレや手摺りの除菌に取り組んでいる。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 上記消毒液や市販の塩素漂白剤での調理用具の除菌に取り組んでいる。水道水は浄水して使用している。食材は短期間で使用できる量を購入している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関まわりで花を育て、飼っている二匹の犬を見に近隣の人は集まってくることもある。日中扉は開いているので入りやすい雰囲気づくりには努めている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) たばこのにおいが広がらないよう空気清浄機を設置している。毎朝の清掃は欠かさない為、清潔感はある。 (外部評価) 居間には見やすい時計、利用者の作品、季節の花等があり、懐かしい民芸風のダンスや食器棚を置き、居心地よく過ごせるよう工夫している。気になる音や匂いもなくゆったりした空間である。	※	もう少し季節感を出せるようにしてみたい。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テレビ周囲のスペースが比較的のびのびと利用でき、入居者間の交流に役立っているが、一人になれるような場所は現状喫煙スペースくらいで、全員に対して共通な固有スペースの確保は出来ていない。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人が使用していた馴染みの家具を持ち込むことは制限していない。居室の利用については共同生活に支障の無い範囲において自由である。 (外部評価) 居室には使い慣れた時計や衣装ケース、書籍等が持ち込まれ、好きなタレントの写真を壁に飾ったりして、利用者が心地よく過ごせる部屋になっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 玄関と勝手口を日中開放することで空気の流れを作っている。共用スペース、居室の室温は空調の過剰使用によって外気との極端な温度差が出ないように管理されている。喫煙スペースは空気清浄機を設置している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりはすべての壁面に設置されている。動線の障害にも極力注意して、個々の身体機能を活かして生活できるようになっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室に目印をつけ、部屋に帰るときに迷わないよう支援している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関口のベンチで休憩しながら外を眺めることが出来る。裏口に野菜畑がある。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	全員の意向や願いを掴みたいと思う一方、コミュニケーションがうまく取れず、家族ともつながりが薄くなってしまった入居者の意向を掴みきれないという現実がある。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	お茶の時間はともにテーブルにつき、話ができるようにしている。散歩などに出かけて公園で話をしたりする時間も取れている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	個々の状態に差はあるが、一人一人が好きな事をして過ごしている。共同生活に支障のない範囲において、職員は、入居者の生活ペースを尊重している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	そうするように日々努力しているが、疾患や生活歴の影響もあり、努力したとおりに全員から良い結果が返ってくるとは限らないのが現状である。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	「行きたいところ」が支援できる範囲であれば当然外出支援するが、身体状況や金銭問題等で実現が難しい場合や、行きたいところの意思表示ができない方、あるいは外出を好まない方などを含めると、1/3くらいにとどまる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	定期的な通院は欠かさず、外出が困難な方の場合には往診も月に2回行っている。看護師への相談体制も確立しており、24時間対応の病院協力もあり不安は解消できている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	管理者や計画作成者など、業務に拘束の少ないスタッフも配置されている為、ある程度の要望には対応できている。(共同生活に著しく支障がある場合をのぞいて)
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	関係の持続している家族とは訪問時に遠慮なく話をできる体制が出来ている。が、家族関係が希薄になっている場合もあり全員とは言えない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 ① ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	家族の訪問はよくある。地域の方は犬を見に来てくださる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議開催前と比べると、地域とのつながりは感じるようになってきた。
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意見が言いにくいような職場環境ではないので、問題については話し合いながら働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人の状態に差異はあっても、全員の満足が得られるように支援している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	現在のところ苦情もなく、お会いしても不満は聞かれないので、(あるいは多少の不満は相談の上、すぐ解消に向けて取り組んでいるので) おおむね満足していただけているものと理解している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

当グループには、グループホームの他に、デイサービス（老人/小児）・託児所・小規模多機能があり、それぞれの催し物等に参加できる体制が構築されており、交流を深めている。